

# 「信州学び円卓会議」の概要

## 及び

## 県民に向けたメッセージ

2025年1月22日

第3回地域版信州学び円卓会議

目的

信州学び円卓会議における議論の具体化を目指し、まずは検討が急務である**中山間地域の学びのあり方に焦点をあて、各地域において議論を展開し、具体的な取組に繋げていく。**

回	日時	対象	内容
1	令和6年5月8日 13:00~14:15	首長・教育長・ その他中山間地 域の学びに関心 のある人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストスピーカーによる講演 千葉大学 副学長・教育学部教授 貞広 齋子 氏 「学校再配置・魅力化とネットワーキング ～現状と方向性について～」</li> <li>・地域課題等について意見交換</li> </ul>
2	令和6年9月2日 10:30~12:00  令和6年9月3日 15:30~17:00	各市町村、各市 町村教育委員会、 学校関係者、そ の他教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表 テーマ「地域の持続可能性を高める学びの広域的な連携について」 【9月2日】 ①北海道 更別村教育委員会 「小規模自治体間の連携による学校教育環境の充実に向けた工夫」 ②福島県 富岡町教育委員会 「地域を超えた学びの連携について」 【9月3日】 ③岐阜県 羽島郡二町教育委員会 「共同設置教育委員会の運用について」 ④大分県 玖珠町教育委員会 「"極"小規模地域における学びの保障のための取組」</li> <li>・円卓会議メッセージについての意見交換</li> </ul>
3	令和7年1月22日 13:00~15:00	各市町村、各市 町村教育委員会、 学校関係者、そ の他教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表 テーマ「地域と共に創る持続可能な学校のあり方」 ①鹿児島県 志布志市教育委員会 「保護者や地域が自ら考える子供たちにとってより良い学びの場」 ②秋田県 五城目町教育委員会 「学校の内側と外側 境界を越える学校づくり」 ③長野県 栄村教育委員会 「みんなで学校を創ろう！」</li> <li>・地域連携について意見交換</li> </ul>

目的

変化が激しく先行き不透明な時代にあって、これからの子どもたちにとっての学びの選択肢の充実や個別最適な学びを実現するために何が必要かを幅広く検討し、関係する様々な主体における取組や県民全体の機運醸成につなげることを目的とする。

回	月日	議論のまとめ
第1回	R5.9.1	教育に関するこれまでの当たり前を変えていく、教育システムのあり方を問い直していく
第2回	R6.2.1	教育に関する制度や現在の取組を共に学びながら方策の検討を進める、地域の抱える課題に取り組む
第3回	R6.5.20	これまでの意見を円卓会議の案として示し、県民の皆様の理解を得ていくプロセスに移行していく
第4回	R6.7.4	メッセージ発信や関係団体との意見交換を通じて、関係する様々な主体における取組につなげていく
第5回	R6.10.16	「新しい当たり前」を共に創るため、当事者である子どもを中心としながら、理解を深め、実行へと移していく

県民意見交換会について

目的

県民一人ひとりが子どもたちにとって最適な学びのあり方について自分事として考える機運の醸成を図るため、また、円卓会議での議論に資するため、県内各地の多様なフィールドにおける学びの当事者との意見交換を実施。

回	日時・フィールド	テーマ
1	R5.9.23 (根羽村)	次世代に続く中山間地域での学びづくりとは
2	R5.10.18 (フリースクール)	子どもの居場所と学びの継続について
3	R5.10.25 (松本県ヶ丘高校)	中学生・高校生・保護者が望むこれからの高校での学びのあり方
4	R5.11.14 (信濃教育会館)	教員の理想とする、これからの長野県での学びとは

回	日時・フィールド	テーマ
5	R5.12.6 (軽井沢風越学園)	私たちが考える理想の「学びの環境」とは
6	R6.1.17 (信州大学教育学部)	教員の魅力と私たちが考える教育の未来
7	R6.3.7 (特別支援学校)	すべての子どもを包み込む学びの環境とは
8	R6.5.13 (インターナショナルスクール)	「私の学び」を実現するためにできること

(R6.4.1現在)

職名	氏名
信州大学教職支援センター准教授 (信州学び円卓会議座長)	荒井 英治郎
軽井沢風越学園校長	岩瀬 直樹
松本大学教育学部教職支援室専門員 (前長野県飯田養護学校校長)	浦野 憲一郎
根羽村長	大久保 憲一
(公社) 信濃教育会会長	大日方 貞一
(学) 白馬インターナショナルスクール 理事長	草本 朋子
長野県市町村教育委員会連絡協議会会長 長野市教育長職務代理者	近藤 守
NPO法人Hug代表	篠田 阿依

職名	氏名
山ノ内町教育長	竹内 延彦
上田市立第五中学校校長	畠山 正幸
須坂市長	三木 正夫
松本市立波田小学校校長	三輪 千子
信州大学教育学部学部長	村松 浩幸
長野県野沢北高等学校校長	柳沢 敬
長野県知事 (オブザーバー)	阿部 守一
長野県教育長 (オブザーバー)	武田 育夫

2024年7月30日（火）

信州学び円卓会議からのメッセージ

他者と協働しながら社会の課題と向き合う

新しい社会の創り手を育むために

学びの  
「新しい当たり前」  
を共に創る

信州学び円卓会議は、次の「取り組むべき方向性」と「重点取組項目」を提案します。

ま

学びの主人公を「子ども」に

な

長野県の学校・先生の  
チャレンジを支える

び

ビジョンをもとに  
つながり、広げる

- 1 子どもたちが学校等でやりたいことを支える
- 2 教員が学校等でチャレンジしたいことを支える
- 3 一人ひとりの学びや得意を共に認め合う仕組みを検討する
- 4 長野県の中山間地域の強みを活かした特色ある学びを広げる
- 5 「こどもまんなか社会」の実現に向けた様々な機関の連携・協働を進める
- 6 多様な学びの場を信州全体で支えるネットワークを再構築する

## 1

# 子どもたちが学校等でやりたいことを支える

一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求する学びを後押しをしていきましょう！

他の学校や地域で取り組んでいるモデルとなる学びを  
広く共有していきましょう！

子どもたちの思いを受け止め、自分らしく学べる環境を育てていきましょう！



## 2

## 教員が学校等でチャレンジしたいことを支える

社会の変化とともに、学校・先生に求める役割が拡大しています。

学びの伴走者として、教育活動に十分に力を発揮できる環境を整えていきましょう！

持続可能な学びを実現していくために、働き方改革を進めていきましょう！

学校の先生・支援人材の採用・配置・異動のあり方を検討していきましょう！

先生・支援人材の学びを支えていきましょう！

「次世代の先生」を共に支えていきましょう！

## 3

# 一人ひとりの学びや得意を共に認め合う

## 仕組みを検討する

長野県環境は、もっと豊かな学びを構想・実現していける可能性を秘めているのではないのでしょうか。

子どもをまんやかに、多様な学びを互いに認め合う評価のあり方や自分の強みや得意な分野を活かして  
チャレンジできる仕組みを検討していきましょう！

山村留学やフリースクール、インターナショナルスクールなど、長野県らしい様々な学びの場があることへの理解を深めていきましょう！

## 4

# 長野県の中山間地域の強みを活かした 特色ある学びを広げる

人口減少・高齢化の進展に伴い、  
小規模町村が多い長野県では、  
中山間地域の学びのあり方の検討が急務となっています。

中山間地域発の自由で柔軟な学びを共に創造していきましょう！

## 5

## 「こどもまんなか社会」の実現に向けた 様々な機関の連携・協働を進める

全ての子どもたちが健やかに成長していくためには、  
社会全体で子どもを育てていくことが重要です。

家庭、地域、学校、行政など様々な機関が対話を重ね、  
子どもの成長を共に支えていきましょう！

幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学、さらにはフリースクールなど、  
こどもの育ちに応じた学びの場同士の連携を深め、  
多様な学びに対する理解を深めていきましょう！

## 6

## 多様な学びの場を信州全体で支える ネットワークを再構築する

様々な社会課題に直面している現在において、  
ひとつの自治体や学校による対応では限界があります。

あらゆる地域・社会資源を共有し、  
子どもの学びのネットワークを再構築していきましょう！

地域・社会資源（自然・歴史・文化・人材）を  
学びに積極的に活用していきましょう！

市町村という行政区域を越えて地域・社会資源を共有し、  
学びの質を向上させていきましょう！

## 学び・教育改革に臨む私たちの決意 ～日本の学びの「新しい当たり前」を信州から創る～

長野県知事 阿部 守一  
長野県教育委員会教育長 武田 育夫

今まさに、時代の大きな転換点であり、日本全体、学び・教育のあり方が問われています。

子どもたち一人ひとりが自身の能力や個性を最大限伸ばし、子どもらしく生きる、その上で自分の頭で考え、目の前の課題を解決していく社会変革の当事者となっていける学びや教育を、この長野県から実現していきたい、またそれができる長野県であると信じています。

そのためには知事と教育長がしっかりと連携することはもちろんですが、義務教育は市町村や市町村教育委員会の皆さんと、また学校は学校現場の先生達、それを支える地域の皆さん、保護者の皆さん、さらには多様な学びの場を支える皆さん、など教育に携わる多くの関係者と目指すべき方向性をしっかりと共有することが重要であると考えます。

教育は「今」を積み重ねた先にある「未来」を創造する営みであり、未来とは希望です。

「信州学び円卓会議」からのメッセージを受け、私たちは未来の子どもたちのために、長野県から学びに関する「これまでの当たり前」をもう一度問い直し、子どもたちが主人公の「新しい当たり前」を創っていきます。

1 長野県の学び・教育をこのように改革していきます

- ①子どもたちが学校等でやりたいことを支える
- ②教員が学校等でチャレンジしたいことを支える
- ③一人ひとりの学びや得意を共に認め合う仕組みを検討する
- ④長野県の中山間地域の強みを活かした特色ある学びを広げる
- ⑤「こどもまんなか社会」の実現に向けた様々な機関の連携・協働を進める
- ⑥多様な学びの場を信州全体で支えるネットワークを再構築する

2 このような「力」をそなえた人を育成していきます

- ①他者と協力してよりよく生き、自分と他者を幸福にする「力」
- ②物事の本質を捉え自ら主体的に判断する地球市民として生きる「力」
- ③自らの人生を切り拓くための豊かな体験と基礎的な学「力」

3 このように改革を推進していきます

・市町村、市町村教育委員会、学校長、教員、PTAなど、子どもの学びに関わる教育関係者と改革の方向性を共有する。

・それぞれの立場で「新しい当たり前」は何か、その実現に向けてどのような取組ができるか検討いただき、共に改革を推進していく。